

モジュラー形電磁比例レデュースングバルブ

30 ℓ/min
0.3~14MPa

特 長

使い易さに優れたモジュラーバルブの思想を電磁比例減圧弁に採用したもので、油圧システム内の圧力を入力電流に比例して減圧制御します。

旋盤のワークチャック圧力の連続比例制御など、工作機械をはじめとする小形油圧システムに最適です。また、リリース機能を備えていますので、圧力

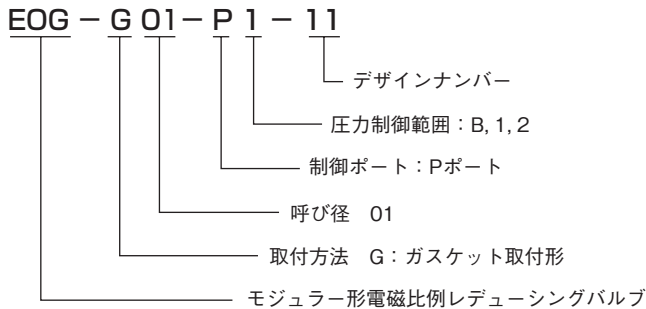
応答性能が優れています。

仕 様

項目	形 式	EOG-G01-P*-11
最高使用圧力 MPa (kgf/cm ²)		25 (255)
最大流量 ℓ/min		30
圧力制御範囲 MPa (kgf/cm ²)		B : 0.3~ 2.5 (3.1 ~ 25.5) 1 : 0.4~ 7 (4 ~ 71) 2 : 0.6~ 14 (6 ~ 143)
Tポート許容背圧 MPa (kgf/cm ²)		2.5 (25.5)以下
定格電流 mA		850
コイル抵抗 Ω		20 (20℃)
ヒステリシス %		3以下(注1)
質 量 kg		3.6

注) 弊社製専用増幅器を使用した場合の値です。(ディザ付き)

形 式 説 明



●取扱い

①空気抜き

良好な圧力制御を行なうため、試運転時にエアバントを緩めて空気抜きを充分に行ない、ソレノイド内に作動油を充填させてください。

②手動圧力調整ねじ

初期調整または電氣的故障などで弁に入力電流がない場合に、手動調整ねじを右に回すことにより、弁の圧力を昇圧することができます。なお通常は必ず手動調整ねじを左に完全に戻し、ロックナットを締めておいてください。

③最低制御圧力

内部ドレン方式ですので、最低制御圧力はTポート背圧の影響を受けます。

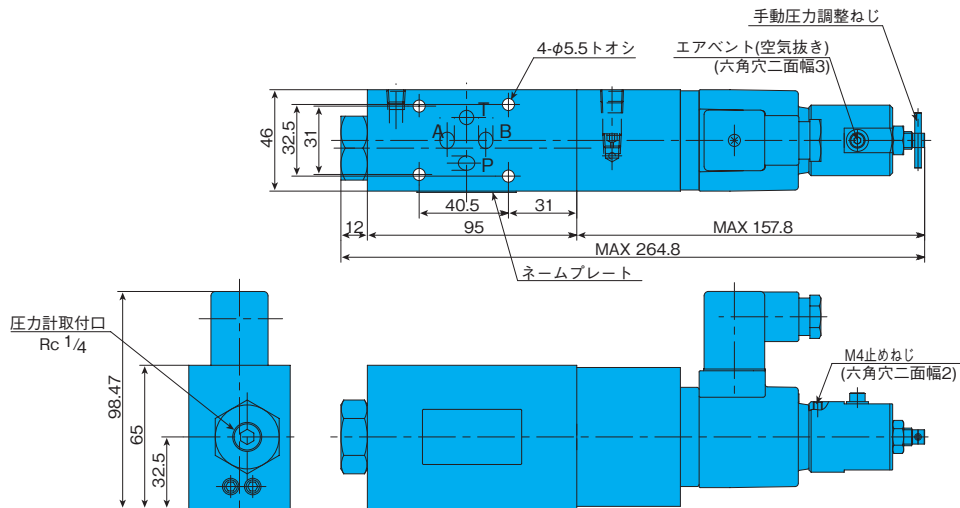
④負荷容量

負荷容量 (弁OUT側容量) は0.5ℓ以上にしてください。

⑤作動油は油温 -20~70℃、動粘度 12~400mm²/sの両条件を満足する範囲で使用ください。推奨動粘度範囲は15~60mm²/sです。

取 付 寸 法 図

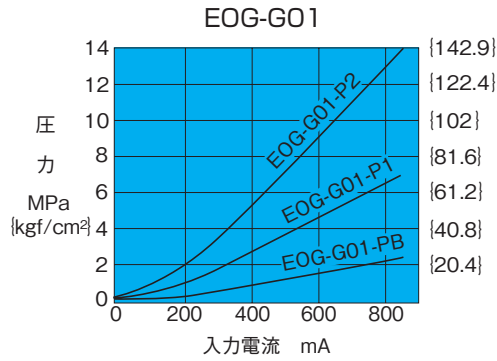
EOG-G01-P*-11



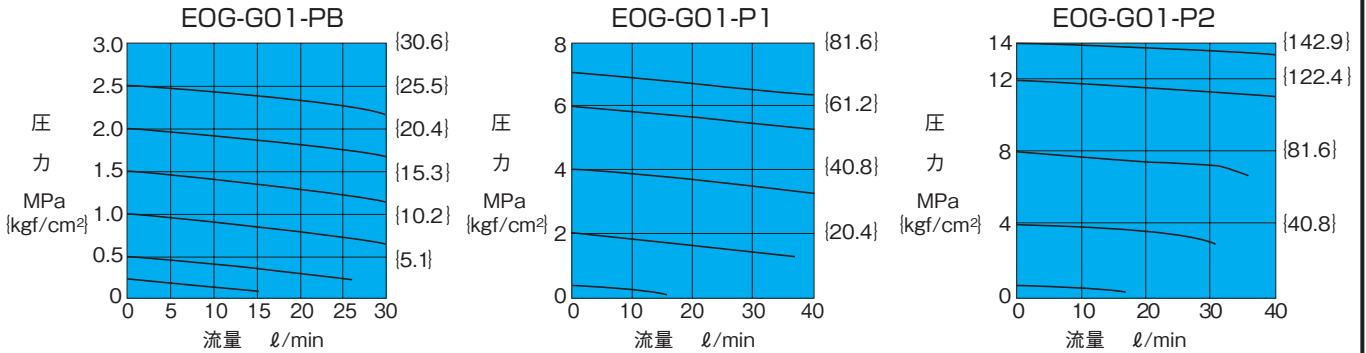
性能曲線

作動油動粘度 32mm²/s

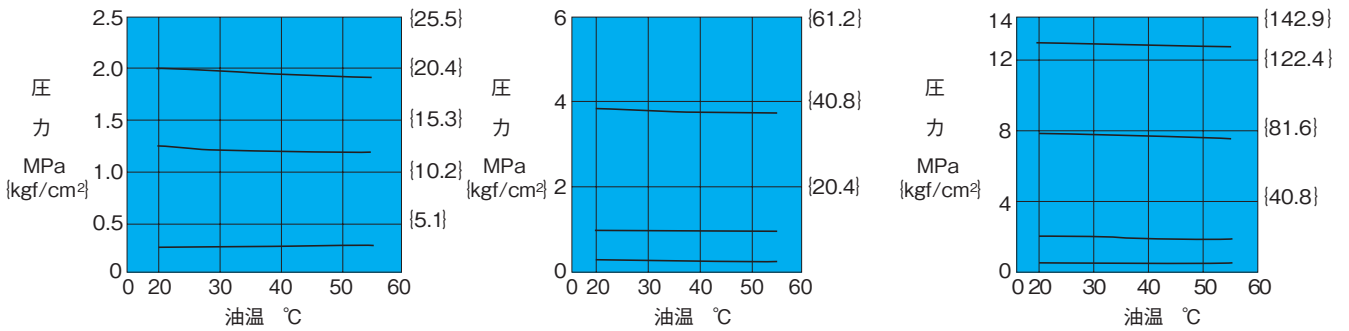
入力電流-圧力特性



流量-圧力特性

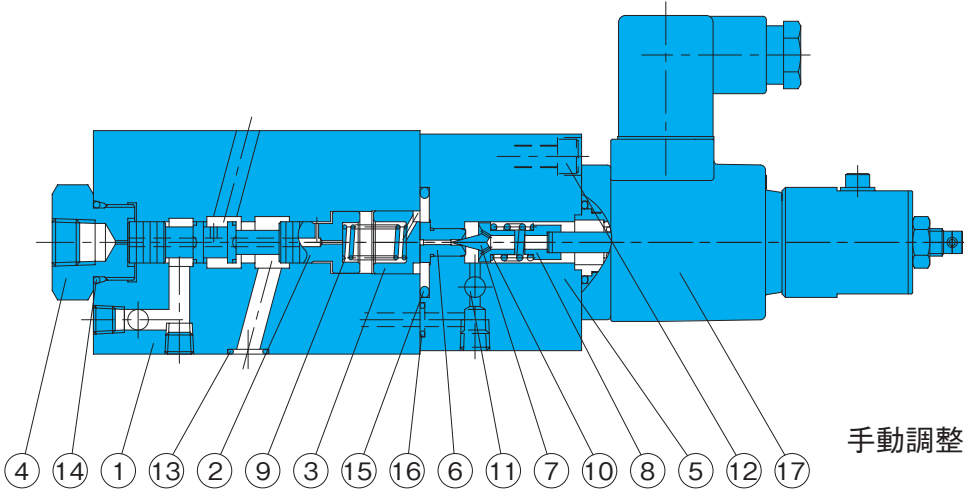


油温特性



断面構造図

EOG-G01-P*-11

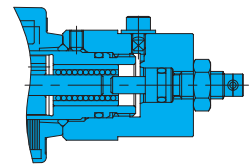


品番 部品名称

- 1 ボディ
- 2 スプール
- 3 リテーナ
- 4 プラグ
- 5 カバー
- 6 シート
- 7 ポベット
- 8 リテーナ
- 9 スプリング
- 10 スプリング
- 11 チョーク
- 12 スクリュー
- 13 Oリング
- 14 Oリング
- 15 Oリング
- 16 Oリング
- 17 比例ソレノイド

注) コイル形式JD64-D2

手動調整部



シール部品一覧表 (キット形式 JBS-G01)

品番	部品名称	部品番号	個数
13	Oリング	AS568-012(NBR-90)	4
14	Oリング	NBR-90 P20	1
15	Oリング	NBR-90 P26	1
16	Oリング	NBR-90 P7	1

注) Oリングの材料及び硬さは、JIS B2401に準じる。